

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公表番号】特表2006-503082(P2006-503082A)

【公表日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-543863(P2004-543863)

【国際特許分類】

C 07 C 235/84	(2006.01)
A 61 K 31/167	(2006.01)
A 61 K 31/18	(2006.01)
A 61 K 31/36	(2006.01)
A 61 K 31/4035	(2006.01)
A 61 K 31/4045	(2006.01)
A 61 K 31/4196	(2006.01)
A 61 K 31/428	(2006.01)
A 61 K 31/4402	(2006.01)
A 61 K 31/4406	(2006.01)
A 61 K 31/4439	(2006.01)
A 61 K 31/451	(2006.01)
A 61 K 31/495	(2006.01)
A 61 K 31/496	(2006.01)
A 61 K 31/505	(2006.01)
A 61 K 31/5375	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
A 61 P 17/06	(2006.01)
A 61 P 31/10	(2006.01)
A 61 P 33/02	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
C 07 C 233/80	(2006.01)
C 07 C 237/40	(2006.01)
C 07 C 311/19	(2006.01)
C 07 D 209/16	(2006.01)
C 07 D 209/44	(2006.01)
C 07 D 211/22	(2006.01)
C 07 D 213/30	(2006.01)
C 07 D 213/40	(2006.01)
C 07 D 213/50	(2006.01)
C 07 D 213/74	(2006.01)
C 07 D 239/47	(2006.01)
C 07 D 249/14	(2006.01)
C 07 D 277/82	(2006.01)
C 07 D 295/10	(2006.01)
C 07 D 295/14	(2006.01)
C 07 D 295/18	(2006.01)
C 07 D 317/66	(2006.01)
C 07 D 401/04	(2006.01)
C 12 N 9/99	(2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 235/84 C S P

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/36

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 31/4045

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/428

A 6 1 K 31/4402

A 6 1 K 31/4406

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/451

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/5375

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 C 233/80 Z N A

C 0 7 C 237/40

C 0 7 C 311/19

C 0 7 D 209/16

C 0 7 D 209/44

C 0 7 D 211/22

C 0 7 D 213/30

C 0 7 D 213/40

C 0 7 D 213/50

C 0 7 D 213/74

C 0 7 D 239/47 Z

C 0 7 D 249/14 5 0 5

C 0 7 D 277/82

C 0 7 D 295/10 Z

C 0 7 D 295/14 A

C 0 7 D 295/18 Z

C 0 7 D 317/66

C 0 7 D 401/04

C 1 2 N 9/99

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月13日(2006.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

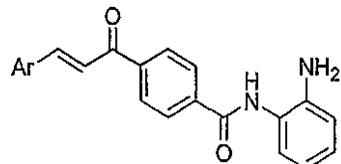
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の式

【化1】



(式中、Arはアリールまたはヘテロアリールであり、それらのそれぞれは場合によっては1-3個の置換基によって置換されている)

を有する化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項2】

Arがアリールまたはピリジニルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

Arがフェニルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

Arがハロ、場合によってはハロで置換されたC₁-C₆-ヒドロカルビル、場合によってはハロで置換されたC₁-C₆-ヒドロカルビルオキシからなる群から選択される1-3個の置換基で置換されている、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

Arが下記の

【化2】

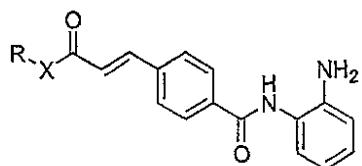
	および		

の1つから選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項6】

下式

【化3】



(式中、Xは-N(R¹)-、-O-、または-S-であるか、またはXは窒素を含むヘテロシクリルであり、但し、窒素は隣接カルボニルに共有結合し且つ場合によっては1-3個の置換基で置換されており、

RおよびR¹は独立して-H、または場合によっては置換されたa) C₁-C₆-ヒドロカルビルまたはb) R²-L-であり、但し、R²はアリールまたはヘテロアリールであり、LはC₀-C₆-ヒドロカルビル-L¹-C₀-C₆-ヒドロカルビルであり、L¹は共有結合、-O-、-S-、または-NH-である)

を有する化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項7】

Xが-NH-、-O-、モルホリン-4-イル、ピペリジン-1-イル、ピペラジン-1-イル、またはピロリジン-1-イルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項8】

Xが-N(R¹)-であり、但し、R¹は場合によっては置換メチルまたはエチルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項9】

Xが-N(R¹)-であり、但し、R¹はシアノエチルまたはピリジニルメチルである、請求項6に記載の化合物。

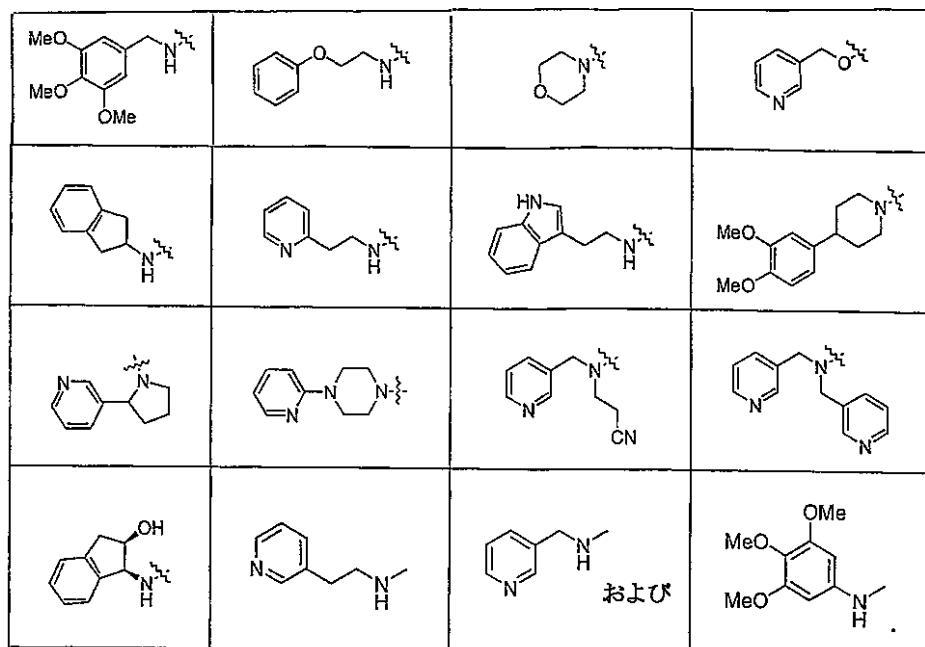
【請求項10】

Xが-N(R¹)-であり、RがR²-L-であり、但し、R²がフェニル、ピリジニル、インジル、またはインドリルであり、Lが共有結合、メチル、エチル、またはオキシエチルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項11】

R-X-の組合せが下記の

【化4】

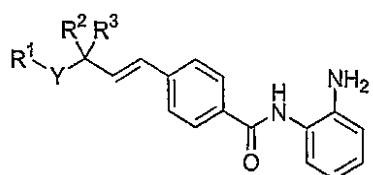


から選択される、請求項6に記載の化合物。

【請求項12】

下式

【化5】



(式中、Yは $-N(R^4)-$ 、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-N(R^4)SO_2-$ 、 $-SO_2-N(R^4)-$ 、 $-SO_2-$ 、 $-N(R^4)-C(O)-$ 、 $-C(O)-N(R^4)-$ 、 $-NHC(O)NH-$ 、 $-N(R^4)C(O)O-$ 、 $-OC(O)N(R^4)-$ 、または共有結合であり、

R^1 、 R^2 、および R^3 は独立して-Hであるか、または $R^a-C_0-C_6$ -ヒドロカルビルであって、但し、 R^a は-Hであるか、または R^a はアリールまたはヘテロアリールであり、それらのそれぞれは、場合によっては1-3個の置換基で置換されており、

R^4 は-H、 $-C(O)-R^b$ 、 $-C(O)O-R^b$ 、 $-C(O)NH-R^b$ 、または $R^c-C_0-C_6$ -ヒドロカルビルであり、但し、

R^b は-Hまたは $-C_1-C_6$ -ヒドロカルビルであり、

R^c は-H、またはアリールまたはヘテロアリールであり、それらのそれぞれは場合によっては1-3個の置換基で置換されている)の化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項13】

R^2 および R^3 が両方とも-Hである、請求項12に記載の化合物。

【請求項14】

Yが $-NH-$ 、 $-SO_2-NH-$ 、または $-N(R^4)-$ であり、但し、 R^4 は $-C(O)O-C_1-C_6$ -ヒドロカルビルである、請求項12に記載の化合物。

【請求項 15】

R^1 がアリール、ベンゾチアゾリル、ピリミジニル、トリアゾリル、ベンゾジオキソレニルまたはピリジニルであって、それらのそれぞれが場合によっては1-3個の置換基で置換されている、請求項12に記載の化合物。

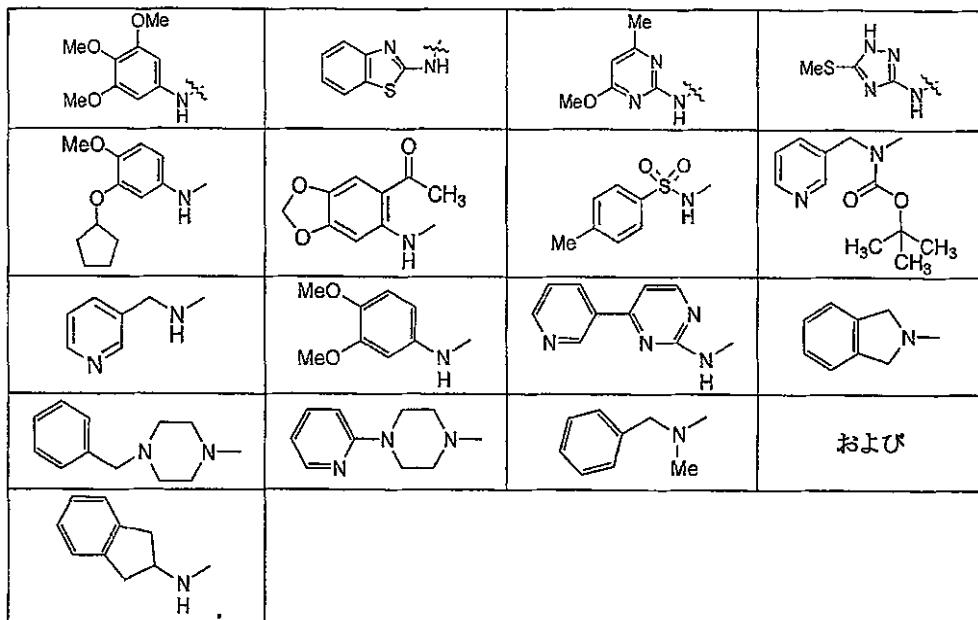
【請求項 16】

R^1 が C_1-C_6 -ヒドロカルビル、 C_1-C_6 -ヒドロカルビルオキシ、ハロ、メチルチオ、およびアセチルから独立して選択された1-3個の置換基で置換されている、請求項15に記載の化合物。

【請求項 17】

R^1-Y が下記の

【化6】

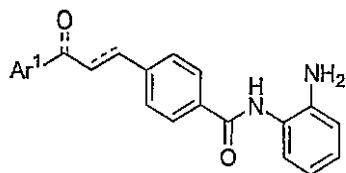


から選択される、請求項12に記載の化合物。

【請求項 18】

式

【化7】



(式中、 Ar^1 が場合によっては $-NO_2$ 、 CH_3O- 、およびモルホリニル(例えば、モルホリン-4-イル)から独立して選択される1-3個の置換基で置換されているアリールまたはヘテロアリールである)

の化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項 19】

Ar^1 が、場合によっては $-NO_2$ 、 CH_3O- 、およびモルホリニル(例えば、モルホリン-4-イル)から独立して選択される1-3個の置換基で置換されているアリールである、請求項18に記載の化合物。

【請求項 20】

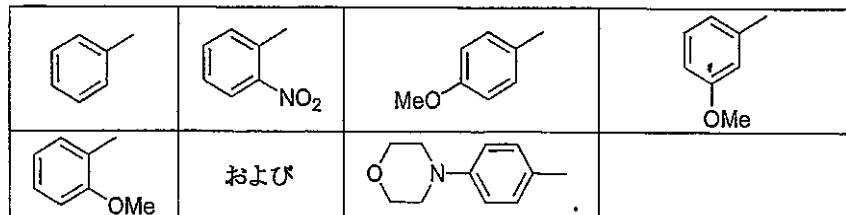
Ar^1 が、場合によっては $-NO_2$ 、 CH_3O- 、およびモルホリニル(例えば、モルホリン-4-イル

)から独立して選択される1-3個の置換基で置換されているフェニルである、請求項18に記載の化合物。

【請求項21】

下式

【化8】



から選択される、請求項18に記載の化合物。

【請求項22】

請求項1-21のいずれか一項に記載の化合物、および薬学上許容可能なキャリヤー、賦形剤、または希釈剤を含んでなる、組成物。

【請求項23】

細胞のヒストンデアセチラーゼを阻害する方法であって、ヒストンデアセチラーゼの阻害が所望な細胞を請求項1-21のいずれか一項に記載のヒストンデアセチラーゼの阻害剤と接触させることを含んでなる、方法。

【請求項24】

細胞増殖性疾患または疾病にかかっている哺乳類を請求項22に記載の組成物の治療上有効量で治療する方法。

【請求項25】

哺乳類がヒトである、請求項24に記載の方法。